8 自ら農業経営を開始する（独立･自営就農）

自ら農業経営を開始（独立・自営就農）するためには、農業技術の習得をはじめ、開業資金や農地の確保、農業機械や農業施設の用意など、様々な準備を行う必要があります。

農業経営を開始した後に、「こんなはずじゃなかった･･･」ということにならないよう、就農相談窓口や就農希望地の市町村等と相談しながら、計画的に準備を進めていきましょう。

独立・自営就農するまでの流れ

① 目指す農業経営のイメージを固める

✓独立・自営就農するということは、新たに事業を開始するということですので、将来、どこでどのような農業経営をしたいのか、就農前に十分検討することが大切です。

✓自分が就農を意識するようになった動機や農業体験で確認した適性等を踏まえて、目指す農業経営のイメージを固めましょう。

✓農業経営のイメージづくりの中で、就農希望地の選定も進めましょう。選定に当たって検討すべきポイントは、以下のとおりです。

- ➢作付品目の生産や販売に適した各種条件（気象、土壌及び販路確保など）が整っているか。
- ➢家族がいる場合は、家族から同意が得られるか。
- ➢周辺に、同じ作物を栽培する仲間や営農を支援してくれる人や組織があるか。
- ➢市町村役場や農業協同組合等の関係団体からどのような支援が得られるか。

✓目標とする農業経営を具体化したものが、営農計画表です（34 ページ参照）。農業経営の指標（24 ページ参照）を参考にしつつ、就農相談窓口（連絡先は 51 ページ参照）とも相談をしながら、営農計画表に目標とする農業経営を取りまとめましょう。

② 農業技術を習得する

✓趣味ではなく生活の糧として農業を営むのであれば、しっかりとした農業技術を習得することが必須です。生物や自然を相手にするものですから、教科書どおりにいかないことが多く、面積が広がることにより、家庭菜園程度の広さで手間をかけてやっていた経験が全く役に立たなくなることもあります。

✓経営品目や就農希望地が決まったら、就農希望地において就農に必要な研修を受けることが望ましいといえます（11～17 ページ参照）。もしくは、将来の独立・自営就農に向けた第一歩として、農業法人等に就職すること（雇用就農）も選択肢の１つになります（18ページ参照）。

③ 資金を確保する

- ✓農地の取得や農業用ハウス・畜舎などの建設、農機具の購入等の設備資金や、種苗代や肥料・農薬代など、１年間営農するためには運転資金が必要です。また、現金収入が得られるようになるまでは、生活資金も必要になります。
- ✓必要な資金の額は、経営品目によって異なりますので、営農計画と生活設計を綿密に立てましょう。
- ✓全国新規就農相談センターの調査（令和６年度）によると、新規就農者が用意した営農資金は平均 278 万円、実際に営農にかかった金額は平均 896 万円と、自己資金を 619 万円上回っています。なお、生活資金の平均 184 万円となっています。
- ✓以上のような就農時の資金不足に対して、54.6%が資金の借り入れを行っており、借り入れ先の内訳をみると、制度資金では、青年等就農資金の他、経営体育成強化資金、スーパーＬ資金、農業近代化資金等であり、民間資金では、農協、銀行等となっています。
- ✓営農資金は、できる限り自己資金で用意することが望ましいですが、公的な融資制度（青年等就農資金）を活用するのも有効な方法です（39 ページ参照）。なお、融資制度を利用するためには、一定の要件を満たす必要があるほか、融資額や信用状況に応じて担保の設定や保証人を求められることがあります。

【参考】新規就農の費用と自己資金

下表は、令和６年度新規就農者の就農実態に関する調査結果（一般社団法人全国農業会議所）より抜粋しました。

就農１年目の費用と自己資金（新規参入者）　　単位：万円

		営農面					生活面	就農１年目農産物売上高
		機械施設等	必要経費	費用合計	自己資金	差額	自己資金	
		A	B	A+B	C	C-(A+B)		
新規参入者計		670	226	896	278	-619	184	354
販売金額第１位の作目	水稲･麦･雑穀類･豆類	662	222	884	280	-604	131	352
	露地野菜	371	143	515	252	-263	163	201
	施設野菜	996	274	1,270	293	-977	207	523
	花き・花木	672	189	861	290	-571	243	261
	果樹	418	153	571	267	-305	185	200
	酪農	2,760	1,956	4,716	858	-3,858	224	2,878
	その他の畜産	1,107	472	1,579	317	-1,262	113	338
	その他	245	122	367	157	-210	170	136

④ 農地を確保する

✓就農先で農地を確保するには、就農地の候補をいくつか選定し、その中で必要な農地面積や環境条件、農地の価格等を十分に検討することが望ましいといえます。

✓地主である農家は、見ず知らずの人に農地を貸したり売ったりすることに抵抗感があります。現地に足を運んで農家と知り合いになり、信頼を得ることが、農地の確保に結びついているようです。

✓農地の売買や貸借には、（１）農地法、（２）農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく手続きを必ず行う必要があります。

（１）農地法の場合

次の要件を満たすことが必要です。

①取得者（またはその世帯員等※）が、取得する農地及び現在所有している農地の全てを効率的に利用して耕作すると認められること。

②取得者（またはその世帯員等※）が、必要な農作業に常時従事すると認められること。

③周辺の農地利用に支障（地域計画（目標地図）の達成に支障が生じる、水利調整に参加しない、無農薬栽培の取組が行われている地域で農薬を使用するなど）がないこと。

※世帯員等とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の２親等内の親族

（２）農地中間管理事業の推進に関する法律の場合

農地中間管理機構を介して農地を借り受ける場合は、農地がある市町村が立てる地域計画（目標地図）に位置付けられる必要があります。また、次の要件を満たすことも必要です。

①事業（農業）に供すべき農地のすべてを効率的に利用すること

②事業（農業）に必要な農作業に常時従事すること

【お問合せ先】

・農地の貸し借りや制度について

千葉県農地中間管理機構（公益社団法人千葉県園芸協会）

☎ 043-223-3011　✉ nouchibu@chiba-engei.or.jp

一般社団法人千葉県農業会議

☎ 043-223-4480　https://chinokai.com/contact/ （問合せフォーム）

・就農地の相談について

各市町村の農業委員会又は農政担当課

⑤ 農業機械や農業施設を確保する

- ✓農業機械や農業施設を確保するためには、多額の資金が必要です。
- ✓このため、手持ちの開業資金のほか、必要に応じて公的な融資制度（青年等就農資金）なども活用して、計画的に確保しましょう（39 ページ参照）。また、要件等はありますが、国や千葉県及び市町村が実施する補助事業を活用できる場合もあるため、一度、確認してみることをおすすめします（42～44 ページ参照）。
- ✓農地の取得や生活費の準備等に手持ち資金の多くを費やし、機械や施設の確保までの資金的な余裕がないことも多いため、当初は必要最低限の機械や施設を用意し、経営が軌道に乗り始めてから徐々に増やしていく方が堅実です。また、借受けや中古品などで対応することも、負担の軽減につながります。

⑥ 住居を確保する

- ✓農作物の栽培管理や家畜の飼養管理を行っていくためには、できるだけ農場の近くに住居があることが望ましいです。
- ✓先輩就農者の例では、就農先の市町村や就農をサポートしてくれる方などを通じて、住居を確保していらっしゃる方もいます。なるべく農地と併せて住居も確保できるように、地元の方からの協力を得ることが大切です。
- ✓市町村によっては、移住支援制度を有している場合もあります。詳しくは、以下のサイト「ちばらしい暮らし」をご覧ください。
- ✓千葉県内の条件不利地域への移住や起業・就業等を加速させるため、移住支援事業を行う市町へ移住し、中小企業等に就業する方、特定分野で起業する方や移住元の業務を引き続きテレワークで実施する方等に対し、移住に要する経費の一部を補助します。詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

・千葉県＞移住・二地域居住ポータルサイト「ちばらしい暮らし」
https://life-style.chiba.jp/

・千葉県＞ UIJ ターンによる起業・就業者等創出事業（移住支援金制度）
https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/ijuteiju-chiba/uij.html

⑦ 農業経営を開始する

- ✓営農計画に基づき、農業経営を開始しましょう。
- ✓県農業事務所や市町村、地域の関係団体との関係を保ちながら、営農計画を実現し、更なる経営発展を目指しましょう。
- ✓前職が会社員等だった場合、次の点にも注意が必要です。
  - ➢独立・自営就農後は、税金や健康保険料、年金保険料を自ら納める必要があります。
  - ➢独立・自営就農後は、年金制度が厚生年金等から国民年金に変わります。

【参考１】農業経営の指標（作物ごとの経営をイメージするために）

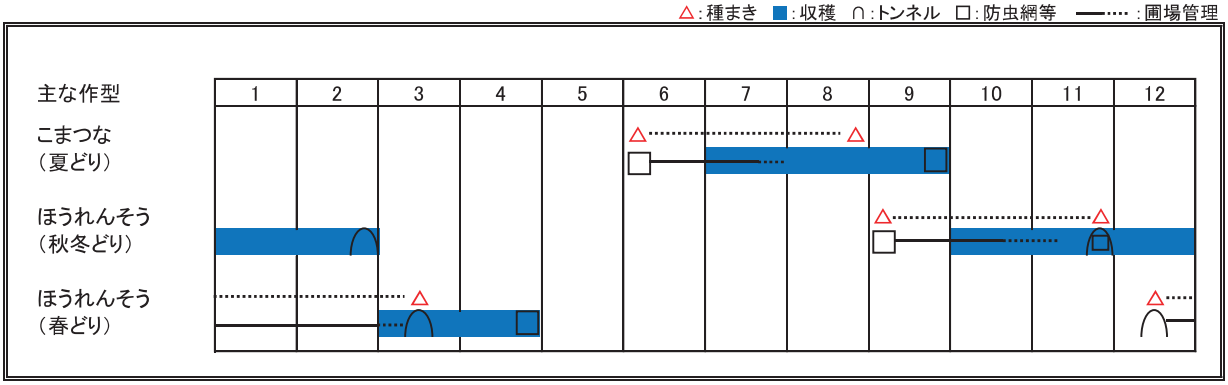
新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標（千葉県農業経営基盤強化の促進に関する基本方針（令和５年６月）より）

千葉県内で現に展開されている経営事例を踏まえ、本県の主要な営農類型において、新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき、１経営体当たり 270 万円程度の年間農業所得の達成を可能とする農業経営の指標を例示すると、以下のとおりです。

なお、例示は、新たに農地等を確保して就農する場合や、親の経営から独立した新たな部門を起こす場合を想定しています。

営農類型１　露地野菜専作（こまつな＋ほうれんそう）

△：種まき　■：収穫　∩：トンネル　□：防虫網等　━┅：圃場管理



規模	目標	生産方式	
		［資本装備］	［技術内容］
畑 90a （借入地 90a） 労働力　家族 2 人 （主たる従事者 1 人）	主たる従事者の所得 279 万円/人 経営体の労働時間 3,128 時間	・トラクター ・動力噴霧機 ・軽トラック ・作業舎 ・冷蔵庫	・土壌分析による施肥管理 ・生産性及び耐病性の高い品種の採用 ・品種に応じた栽培管理 ・防虫網の活用

【算定根拠】（農業粗収益）586 万円－（農業経営費）306 万円＝（農業所得）279 万円
※補助事業の活用、中古農機の購入等により、減価償却費を 80%に圧縮

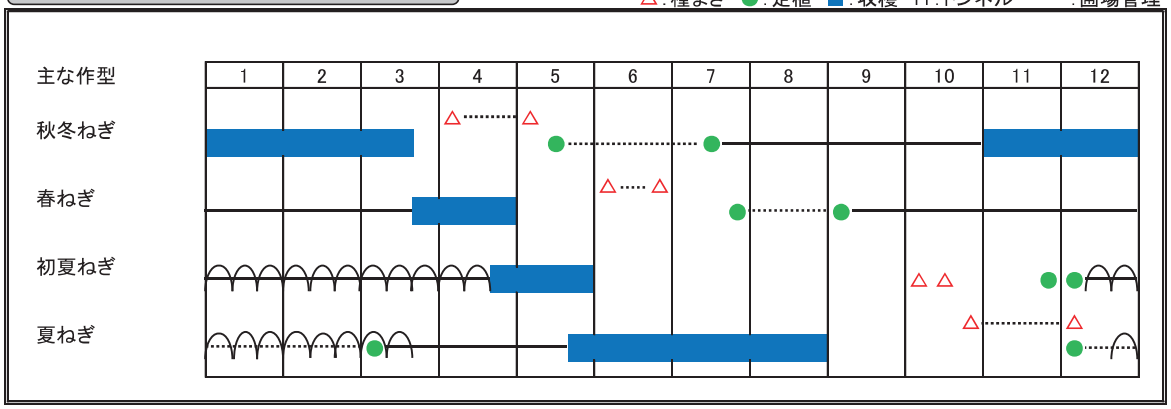
１　品種構成 こまつな（きよすみ） ほうれんそう（サプライズほか） ２　規模 こまつな（夏どり）　30a ほうれんそう（秋冬どり）60a ほうれんそう（春どり）　30a	３　10a 当たり生産量 こまつな（夏どり）　1,840kg ほうれんそう（共通）　1,200kg ４　単価 こまつな　200 円/kg ほうれんそう（共通）440 円/kg	５　所得率 47% ６　10a 当たりの労働時間 261 時間/10a ７　借入地面積 90a ８　10a 当たり借地代 20,000 円/10a

【経営管理の方法】　・農作業日誌の記帳活用　・パソコンなどの活用による経営管理

【農業従事の態様】　・定期的な休日の確保

営農類型２　露地野菜専作（ねぎ）

△:種まき　●:定植　■:収穫　∩:トンネル　━:圃場管理



規模	目標	生産方式	
		[資本装備]	[技術内容]
畑 70a （借入地 70a） 労働力　家族 2 人 （主たる従事者 1 人）	主たる従事者の所得 279 万円/人 経営体の労働時間 2,998 時間	・トラクター・動力噴霧機 ・軽トラック・作業舎 ・育苗ハウス・皮むき機	・土壌分析による施肥管理 ・耐寒性、晩抽生等栽培時期に適した品種の採用

【算定根拠】（農業粗収益）664 万円－（農業経営費）385 万円＝（農業所得）279 万円
※補助事業の活用、中古農機の購入等により、減価償却費を 80%に圧縮

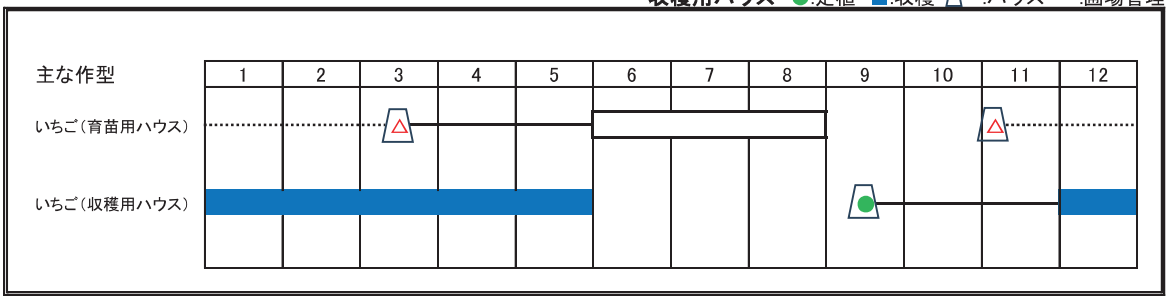
1　品種構成 ・秋冬ねぎ(夏扇、龍ひかり、羽生 1 本太他) ・春ねぎ（龍まさり他） ・初夏ねぎ（春扇） ・夏ねぎ（初夏扇、羽生 1 本太他） 2　規模 ・秋冬ねぎ　40a・春ねぎ　10a ・初夏ねぎ　10a・夏ねぎ　10a	3　10a 当たり生産量 ・秋冬ねぎ　3,250kg・春ねぎ　3,250kg ・初夏ねぎ　3,500kg・夏ねぎ　3,500kg 4　単価 ・秋冬ねぎ　260 円/kg ・春ねぎ　260 円/kg ・初夏ねぎ　400 円/kg ・夏ねぎ　290 円/kg	5　所得率　42% 6　10a 当たりの労働時間 428 時間／10a 7　借入地面積　70a 8　10a 当たり借地代 20,000 円／10a

【経営管理の方法】　・農作業日誌の記帳活用　・パソコンなどの活用による経営管理

【農業従事の態様】　・定期的な休日の確保

営農類型３　施設野菜専作（いちご）

育苗用ハウス　△:親株定植　□:育苗・採苗
収穫用ハウス　●:定植　■:収穫　⌂:ハウス　ー:圃場管理



規模	目標	生産方式	
		[資本装備]	[技術内容]
ハウス 2,100 ㎡ （育苗ハウス 300 ㎡含む） （借入地 3,000 ㎡） 労働力　家族 2 人 （主たる従事者 1 人）	主たる従事者の所得 278 万円 経営体の労働時間 4,000 時間	・ハウス・育苗ハウス ・トラクター・防除機 ・畦上げ機・潅水施設 ・暖房機・作業場 ・倉庫予冷庫・直売所・トイレ	・充実した苗が確保可能な育苗管理 ・土壌分析による施肥管理

【算定根拠】（農業粗収益）972 万円－（農業経営費）694 万円＝（農業所得）278 万円
※補助事業の活用、中古農機の購入等により、減価償却費を 80%に圧縮

1　品目及び規模　いちご（1,800 ㎡） 2　生産量　5,400kg（3,000kg/10a） 3　単価　1,800 円/kg	4　所得率　29% 5　10a 当たりの労働時間　2,225 時間／10a 6　1 時間当たりの雇用労賃　なし	7　借入地面積　30a 8　10a 当たり借地代 50,000 円／10a

【経営管理の方法】　・農作業日誌の記帳活用　・パソコンなどの活用による経営管理

【農業従事の態様】　・定期的な休日の確保

栽培品目の収支見込み

令和４年度に聞き取り調査した結果をもとに、代表的な品目作型で期待所得や労働時間、初期投資額の目安などをご紹介します（※湿地性カラーと水稲については聞き取り調査未実施のため、従前の手引書からデータを引用しています）。施設や資材を利用するなど工夫次第で、この期間以外での栽培も可能です。一般的に施設や機械化の必要な品目は初期投資額が高くなります。

区　分	品目（備考）	粗収益（万円/10a）	期待所得（万円/10a）	労働時間（時間/10a）	初期投資額ランク
露地野菜年１作	さつまいも（マルチ）	64	34	131	B
	ねぎ（秋冬どり）	98	27	379	C
施設野菜年１作	いちご（ハウス促成、観光＋直売）	540	199	2,225	E
	きゅうり（促成土耕栽培）	600	168	1,080	E
露地野菜年２作	じゃがいも（マルチ）	49	25	192	A
	だいこん（トンネル春どり）	69	23	208	B
	だいこん（秋冬どり）	53	18	82	B
	にんじん（春夏どり）	72	21	165	B
	にんじん（秋冬どり）	61	31	140	B
	とうもろこし（トンネル・マルチ）	27～42	8～13	63～71	B
	レタス（トンネル冬どり）	56	24	236	B
	キャベツ（秋冬どり）	40	12	58	A
	えだまめ（露地栽培）	53	24	245	B
	ブロッコリー（秋冬どり）	31	16	121	A
施設野菜年２作	すいか（ハウス半促成）	114	47	365	D
	メロン（ハウス半促成）	119	42	307	D
	トマト（ハウス抑制）	156	63	595	D
施設・露地野菜３作以上	こまつな（周年栽培、ハウス）	300	145	1,402	D
	こかぶ（周年栽培、ハウス）	280	143	994	D
	ほうれんそう（秋冬どり）	63	42	231	B
	こかぶ（トンネル）	81	38	277	B
	こかぶ（べたがけ）	62	30	264	B
果　樹	日本なし（市場出荷）	108	35	246	E
	カンキツ（露地、直売+みかん狩り）	65	46	247	C
	ブルーベリー（露地・直売）	102	36	378	C
花　き	湿地性カラー	210	30	798	E
水　稲	水稲	11.0～11.8	1.7	23	E

※各品目の所得の計算は以下の条件で行いました。
①施設等の整備については経営発展支援事業（42 ページ参照）を活用しました。
②軽トラック、倉庫、事務所等の共用施設の整備は経費に含めませんでした。
③経営面積は露地畑 0.5～２ha、施設 10a としました。

初期投資額のランク

初期投資額	～300 万円	～600 万円	～1,000 万円	～1,500 万円	1,500 万円～
ランク	A	B	C	D	E

野菜

○年１作の品目

露地栽培：　さつまいも・さといも・やまといも・ねぎ・たまねぎ・れんこんなど。一般的に春先に種まき・定植し秋以降に収穫する品目で、畑を６か月以上使用します。

専作を目指すなら面積の拡大が発展するためのポイントです。下記に挙げたさつまいもの事例では貯蔵で出荷期間を延長し所得アップを目指しています。

●：定植　■：収穫

さつまいも（マルチ）

●品種：紅あずま・紅はるか・シルクスイート等

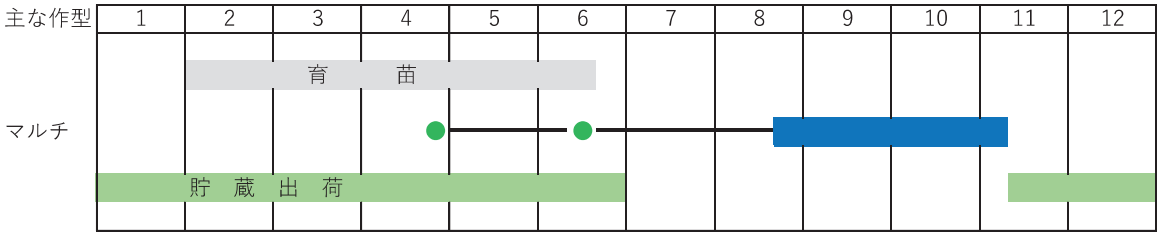
●栽培等の注意点：ウイルスフリー苗を用いた方が収量・品質が安定する。低温に当てると腐敗しやすいので、霜降前に収穫を終わらせる。

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：２，８００ｋｇ
粗収益　　：６４万円
期待所得　：３４万円
年間所用労働時間　：１３１時間

●初期投資額：ランクB

●主要な機械：トラクター、軽トラック、土壌消毒機、つる刈機、動力噴霧機、収穫機、洗浄機、定温貯蔵庫

●主要な資材：マルチ



施設栽培：　いちご・トマト長期・きゅうり長期・なす長期など。一般的に夏から秋に定植して翌年７月ごろまで収穫する品目です。

栽培が冬を越すため暖房機の導入・保温対策ができる頑丈なハウスが必要となります。また、作物の維持を長期間続ける技術も必要です。初期投資も多額となりますが準周年での出荷が可能となり所得アップを目指せます。

△：種まき　×：鉢上げ　●：定植　■：収穫　⏢：ハウス

きゅうり（促成土耕栽培）

●品種：グリーンフラッシュ・アドミラル

●栽培等の注意点：高度な肥培管理・防除技術・つるおろしや温度管理等の栽培管理技術の習得が必要。促成栽培(年1作)、加温ハウス施設、市場出荷。

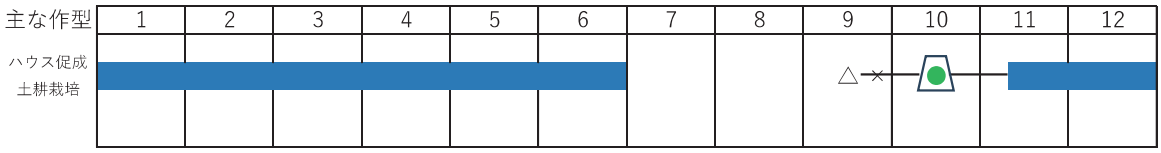
収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：２０，０００ｋｇ
粗収益　　：６００万円
期待所得　：１６８万円
年間所用労働時間　：１，０８０時間

●初期投資額：ランクＥ

●主要な機械：トラクター、動力噴霧機、軽トラック、暖房機

●主要な施設：鉄骨ハウス、作業舎

●主要な資材：保温被覆資材一式、誘引テープ、かん水チューブ



○年２作可能な品目

露地栽培：　じゃがいも・だいこん・にんじん・とうもろこし・えだまめ・キャベツ・ブロッコリー・レタスなど、畑を３～６か月程度利用する品目です。

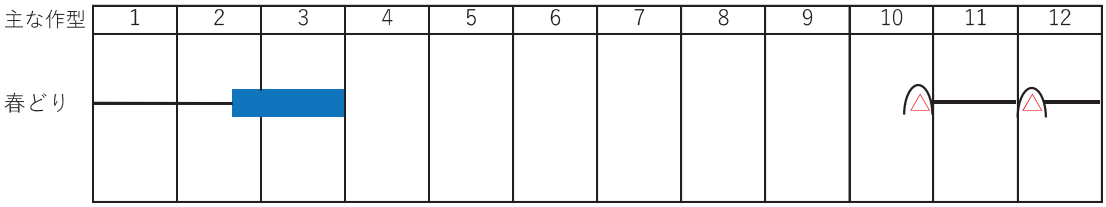
多くの作物の中から春作に向く品目・秋冬作に向く品目を組み合わせて栽培します。連作障害にならないように計画し所得アップを目指します。

だいこん（トンネル春どり）

△：種まき　■：収穫　∩：トンネル

●品種：春わたり
●栽培等の注意点：抽苔防止のため、保温資材を利用し、品種選定に留意する。
●初期投資額：ランクＢ
●主要な機械：トラクター、軽トラック、シーダーマルチャー、動力噴霧機、洗浄機
●主要な資材：穴あきマルチ、トンネルパイプ、トンネル用ビニール

収益性（１０ａ当たり）	
収穫量	：７，５００ｋｇ
粗収益	：６９万円
期待所得	：２３万円
年間所用労働時間	：２０８時間

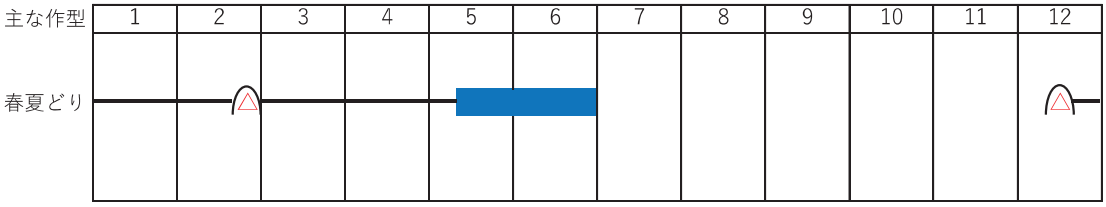


にんじん（春夏どり）

△：種まき　■：収穫　∩：トンネル

●品　種：TCH-711、紅うらら
●栽培等の注意点：トンネルを利用し保温する。換気による生育管理を行う。
●初期投資額：ランクＢ
●主要な機械：トラクター、軽トラック、シーダーマルチャー、動力噴霧機、洗浄機
●主要な資材：穴あきマルチ、トンネルパイプ、トンネル用ビニール

収益性（１０ａ当たり）	
収穫量	：５，５００ｋｇ
粗収益	：７２万円
期待所得	：２１万円
年間所用労働時間	：１６５時間

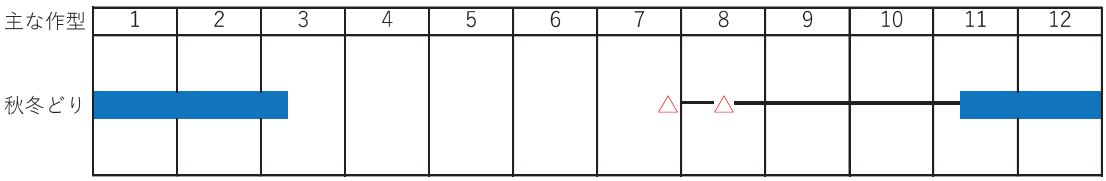


にんじん（秋冬どり）

△：種まき　■：収穫

●品種：愛紅・ベーター441
●栽培等の注意点：7下から8月にかけて播種するため、播種～生育初期にかけて十分な灌水が必要。機械化を進めて規模拡大して所得向上を目指す。
●初期投資額：ランクＢ
●主要な機械：トラクター、軽トラック、播種機、動力噴霧機、管理機、洗浄機
●主要な資材：潅水チューブ

収益性（１０ａ当たり）	
収穫量	：５，１００ｋｇ
粗収益	：６１万円
期待所得	：３１万円
年間所用労働時間	：１４０時間



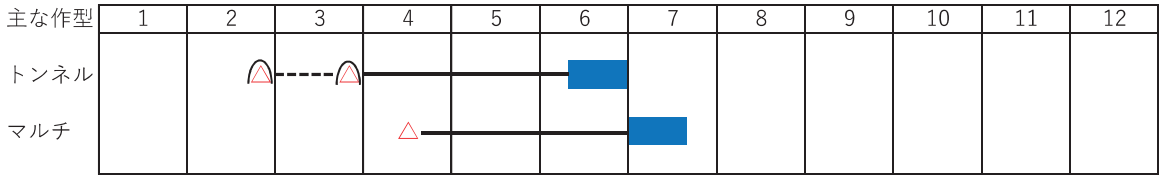
とうもろこし（トンネル・マルチ）

△：種まき　■：収穫　∩：トンネル

●品種：ゴールドラッシュ等
●栽培等の注意点：雄花の開花期から、病害虫防除（アワノメイガ）を行う。トンネル内温度が35℃を超えないように、3月中旬から穴あけ換気をする。

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：トンネル1,400kg・マルチ1,120kg
粗収益　　：トンネル42万円・マルチ27万円
期待所得　：トンネル13万円・マルチ８万円
年間所用労働時間：トンネル71時間・マルチ63時間

●初期投資額：ランクＢ
●主要な機械：トラクター、軽トラック、管理機、平畝ロータリーマルチ、動力噴霧機
●主要な資材：ポリマルチ、トンネルPOフィルム、トンネルパイプ、トンネル穴あけ機



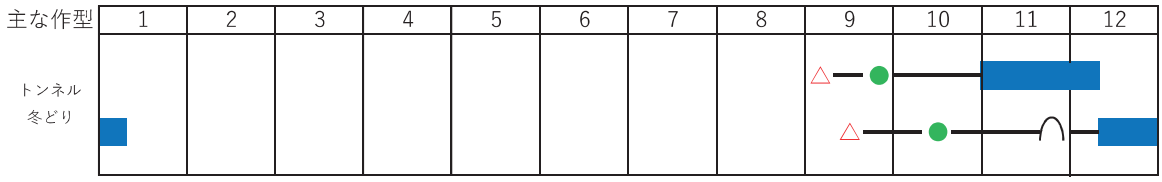
レタス（トンネル冬どり）

△：種まき　●：定植　■：収穫　∩：トンネル

●品種：オーディブル等
●栽培等の注意点：結球初めまでは乾燥させない。被覆資材で保温し生育促進を図る。高温時に換気する。

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：２，８００ｋｇ
粗収益　　：５６万円
期待所得　：２４万円
年間所用労働時間　：２３６時間

●初期投資額：ランクＢ
●主要な機械：トラクター、軽トラック、マルチャー、管理機、動力噴霧機、運搬台車、レタス包装機
●主要な資材：セルトレイ、ポリマルチ、ビニール、トンネルパイプ



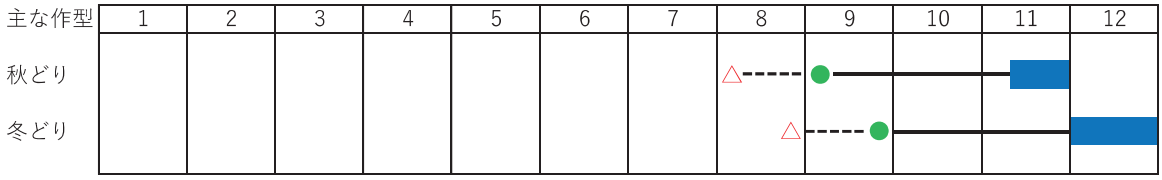
キャベツ（秋冬どり）

△：種まき　●：定植　■：収穫

●品種：恋唄等
●栽培等の注意点：育苗中は虫害、乾燥に注意する。石灰資材でpHを6.0～6.5へ調整。定植時は乾燥させない。

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：４，８００ｋｇ
粗収益　　：４０万円
期待所得　：１２万円
年間所用労働時間　：５８時間

●初期投資額：ランクＡ
●主要な機械：トラクター、普通トラック、管理機、定植機、動力噴霧機、運搬台車
●主要な資材：寒冷紗



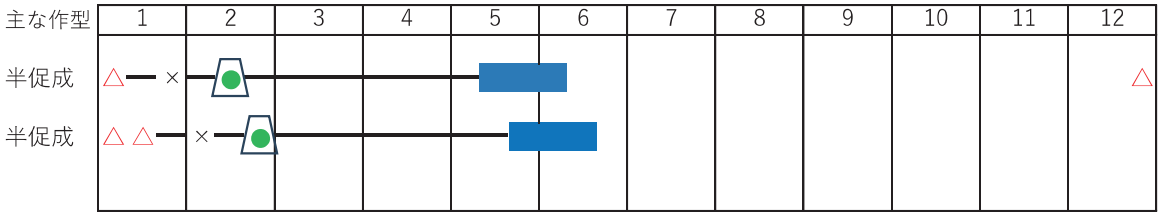
施設栽培：　トマト短期・きゅうり短期・なす・ピーマン・すいか・メロン・えだまめなど。
温暖な千葉県では補助暖房や暖房なしの簡易ハウスでも品目の組み合わせで長期出荷が可能です。無加温パイプハウスですいか＋トマト、メロン＋トマトの組み合わせで産地化されています。産地で色々な取組がありますので参考にしてください。

すいか（ハウス半促成）

△：種まき　×：鉢上げ　●：定植　■：収穫　⏢：ハウス

●品種：春のだんらん、味きらら
●栽培等の注意点：土壌消毒の徹底。温度管理の徹底（特に交配時期）
●初期投資額：ランクD
●主要な機械：トラクター、土壌消毒機、管理機、動力噴霧機、西瓜磨き機
●主要な資材：育苗資材、電熱線、トンネルビニール、潅水チューブ、交配用ミツバチ

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：４，５００ｋｇ
粗収益　　：１１４万円
期待所得　：４７万円
年間所用労働時間　：３６５時間

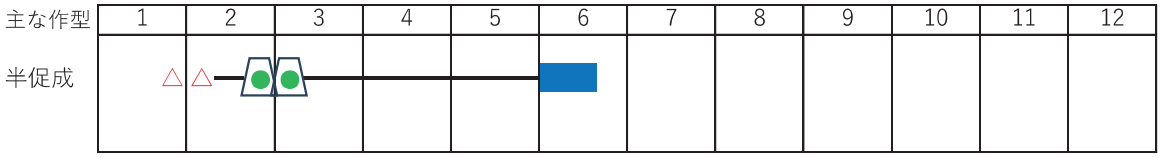


メロン（ハウス半促成）

△：種まき　●：定植　■：収穫　⏢：ハウス

●品種：アムス・タカミ
●栽培等の注意点：ハウス立ち栽培。土壌消毒の徹底。温度管理に注意。（特に交配時期）
●初期投資額：ランクD
●主要な機械：トラクター、土壌消毒機、管理機、動力噴霧機、メロン磨き機
●主要な資材：育苗資材、電熱線、トンネルビニール、潅水チューブ、交配用ミツバチ

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：２，５００ｋｇ
粗収益　　：１１９万円
期待所得　：４２万円
年間所用労働時間　：３０７時間

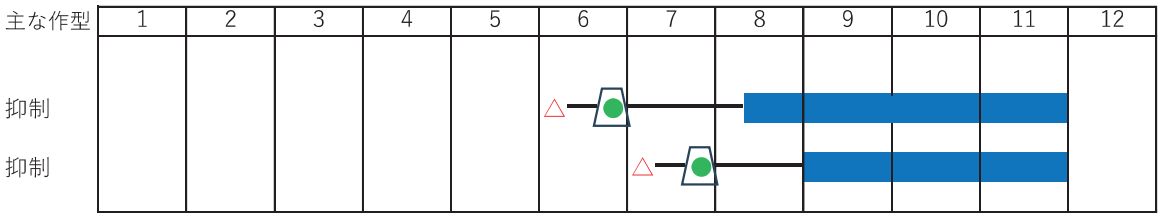


トマト（ハウス抑制）

△：種まき　●：定植　■：収穫　⏢：ハウス

●品　種：ハウス桃太郎
●栽培等の注意点：土壌病害対策を徹底する。定植時の水管理、生育期の高温対策、期間中の肥培管理に注意する。
●初期投資額：ランクD
●主要な機械：トラクター、軽トラック、動力噴霧機、管理機
●主要な資材：支柱、誘引ロープ

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：５，２００ｋｇ
粗収益　　：１５６万円
期待所得　：６３万円
年間所用労働時間　：５９５時間



○年３作以上の品目

露地栽培・施設栽培：　こかぶ・ほうれんそう・こまつな・みずな・ちんげんさいなど、畑を１～３か月利用する品目です。

栽培期間の短い葉物野菜を露地・施設で計画的に栽培していきます。収穫適期が短いので注意が必要です。単一品目だけでなく他品目との組み合わせも行われています。

事例は無加温雨よけハウスで単品目を周年出荷し所得向上を目指すものです。連作となるので土づくりと土壌病害の対策が重要となります。

こまつな（周年栽培）

ハウス栽培　△：種まき　■■■：収穫

●品種：いなむら(春･夏･秋) つなしま(夏･秋) はまつづき(冬)

●栽培等の注意点：無加温雨よけハウス栽培とする。生育が早いので収穫できる面積を見極めて播種面積を決める。土づくりを心掛ける。

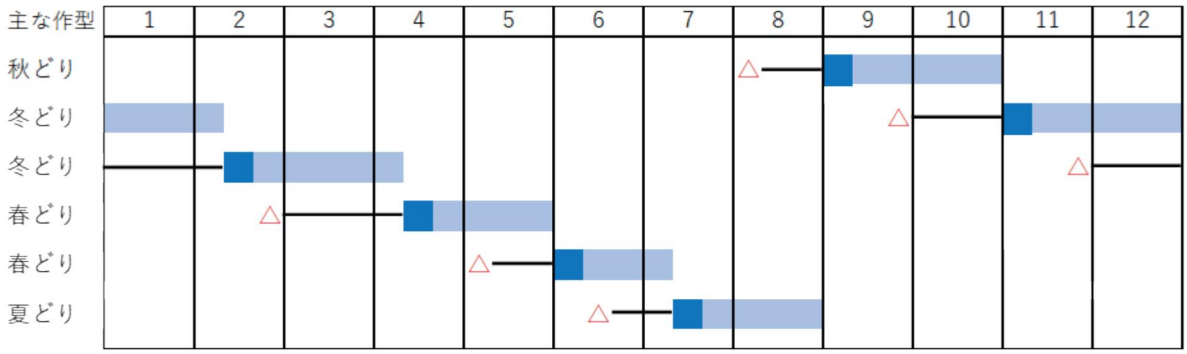
●初期投資額：ランクD

●主要な機械：トラクター、軽トラック、播種機、動力噴霧機、土壌消毒機

●主要な資材：潅水チューブ、防虫網

収益性（１０ａ当たり）	
収穫量	：１０，０００ｋｇ
粗収益	：３００万円
期待所得	：１４５万円
年間所用労働時間	：1，４０２時間

※年５回転で試算しています



こかぶ（周年栽培）

ハウス栽培　△：種まき　■■■：収穫

●品種：雪牡丹（春・秋・冬）CR白涼(冬)CR白根(夏)

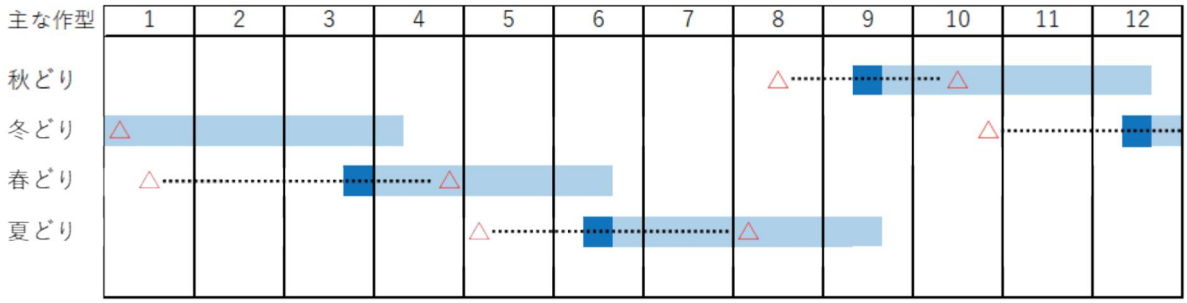
●栽培等の注意点：無加温雨除けハウス栽培とする。発芽不良を起こさないよう丁寧に整地し、土壌水分を確保する。玉の肥大が進むよう温度管理（換気）をする。

●初期投資額：ランクD

●主要な機械：トラクター、播種機、洗浄機、動力噴霧機

●主要な資材：べたがけ資材

収益性（１０ａ当たり）	
収穫量	：２５，０００ｋｇ
粗収益	：２８０万円
期待所得	：１４３万円
年間所用労働時間	：９９４時間



果樹

日本なし（市場出荷）

△：剪定　○：交配　□：摘果　■：収穫

●品　種：幸水、豊水、あきづき
●栽培等の注意点：収量が安定するまで１０年を要する。せん定技術の習得に3～5年を要する。
●初期投資額：ランクE
●主要な機械：トラクター、草刈機、スピードスプレヤー、運搬車、トラック、選果機
●主要な資材：梨棚、多目的防災網、灌水施設

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：２，０８０ｋｇ
粗収益　　：１０８万円
期待所得　：３５万円
年間所用労働時間　：２４６時間

主な作型

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		△	○	□	□		■	■		△	

カンキツ（露地、直売＋みかん狩り）

△：剪定　□：摘果　■：収穫

●品　種：温州ミカン、中晩生カンキツ
●栽培等の注意点：収量が安定するまで１０年を要する。 暴風対策が必要。
植え付け後、５年くらいは寒害対策必要。
●初期投資額：ランクC
●主要な機械：トレーラー、中耕機、動力噴霧機
●主要な資材：支柱、電気柵

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：１，９００ｋｇ
粗収益　　：６５万円
期待所得　：４６万円
年間所用労働時間　：２４７時間

主な作型

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	△	△				□	□		■	■	■

ブルーベリー（露地・直売）

△：剪定　○：交配　■：収穫

●品　種：ラビットアイ系
●栽培等の注意点：収量が安定するまで５年を要する。
排水性、透水性の良い土壌が栽培に適する。
収穫に労力を要する。
●初期投資額：ランクC
●主要な機械：動力噴霧機、草刈機、軽トラック
●主要な資材：支柱、網

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　　：３５５ｋｇ
粗収益　　：１０２万円
期待所得　：３６万円
年間所用労働時間　：３７８時間

主な作型

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	△		○			■	■				△

花き

●：定植　▲：株分け　■：収穫

湿地性カラー

●県奨励品種：ウエディングマーチ、アクアホワイト、Brilliant･Bell

●栽培等の注意点：毎分200L程度の自噴井戸が必要、井戸100～300m（掘削場所により大きく変動）。定植してから本格的な出荷までに２年程度の株養成が必要。

●初期投資額：ランクE（但し既存のハウス、井戸を引き継げれば、ランクB）

●主要な機械：軽トラック

●主要な施設：予冷庫（1.5坪）、作業場（１２坪）、パイプハウス、自噴井戸

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　：３０，０００本（３～４年目以降）
粗収益　：２１０万円
期待所得　：３０万円
年間所用労働時間　：７９８時間

主な作型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目				株	養	成			●			
2年目						台刈						
3年目						▲						■
4年目～	■	■	■	■	■							

水稲

△：種まき　●：定植　■：収穫

水　　稲

●県奨励品種　：ふさおとめ
ふさこがね
コシヒカリ

●栽培等の注意点：販売方法を工夫することによって所得を確保する。また、中古機械等を利用し初期投資を下げる。

●初期投資額：ランクE
（ただし中古機械等を利用すれば、ランクＤ）

●主要な機械：乗用トラクタ、播種機、 乗用田植機、コンバイン、乾燥機、籾摺機、草刈機、軽トラック

●主な施設：パイプハウス、作業舎

●主要な資材：育苗箱、被覆シート、米袋

収益性（１０ａ当たり）
収穫量　：ふさおとめ ５４０ｋｇ
ふさこがね ５７０ｋｇ
コシヒカリ ５１０ｋｇ
粗収益　：ふさおとめ１１.０万円
ふさこがね１１.２万円
コシヒカリ１１.８万円
期待所得　：１.７万円
労働時間　：２３時間

主な作型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ふさおとめ			△	●				■				
ふさこがね			△	●				■				
コシヒカリ				△	●				■			

【参考２】営農計画表（参考）

独立・自営就農したい方は、【参考１】農業経営の指標（作物ごとの経営をイメージするために）（24 ページ参照）等を参考に、営農計画表を作成してみましょう。

営 農 計 画 表

住所
電話
氏名
生年月日　　年　　月　　日（　　才）
職業

1. 農業経営の概要

就農地		就農時期	年　月　日
就農形態	□ 新たに農業経営を開始 □ 親（三親等以内の親族を含む）の農業経営とは別に新たな部門を開始 □ 親の農業経営を継承 □ 全体　□ 一部 継承する経営での従事期間　年　ヶ月		
営農類型			
将来の農業経営の構想			

作物・部門名	経営開始時		目標（　年）	
	作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量
面積・頭数計				
年間農業所得	千円		千円	
年間労働時間	時間		時間	

農地区分等	地目	所在地（市町村）	現状	目標（　年）
所有地			a	a
借入地			a	a

労働力（家族従事者）	氏名	続柄	年齢	担当業務	農業従事日数
					日/年
					日/年
					日/年
					日/年

（雇用者）			現状	見通し
	常時雇用（年間）	実人数	人	人
	臨時雇用（年間）	実人数	人	人
		延べ人数	人	人

2. 技術習得に関する事項

	研修先・勤務先の名称	所在地	専攻・営農部門
技能知識の習得状況			
	研修・勤務期間	年　　月 ～	年　　月
	研修・勤務内容		
	活用した補助金		

3. 就農の動機

4. 経歴

5. 主要な設備投資及び資金計画

実施年度		投資内容	規模・能力	数量	事業費	資金調達計画（自己資金・借入金・補助金等）	償還期間
1					千円		年
2					千円		年
3					千円		年
4					千円		年
5					千円		年
6					千円		年
					千円		

6. 栽培・飼養計画

※ 任意の様式で作物の作付計画や家畜の飼養管理計画を作成しましょう

7. 販売・収支計画

			実績	計画	計画	計画	計画	計画
			年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
農業収入	（作物名）	経営規模 a						
		生産量 kg						
		単価 円/kg						
		売上高 円	0	0	0	0	0	0
	（作物名）	経営規模 a						
		生産量 kg						
		単価 円/kg						
		売上高 円	0	0	0	0	0	0
	（作物名）	経営規模 a						
		生産量 kg						
		単価 円/kg						
		売上高 円	0	0	0	0	0	0
	その他収入	円						
農業収入計①		円						
農業経営費	原材料費	円						
	減価償却費②	円						
	出荷販売経費	円						
	雇用労賃	円						
	支払利息	円						
		円						
農業支出計③		円						
農業所得（①ー③）		円						

8. 資金繰り表（売上金が入るまでの、手持ちの預貯金が不足しないか検討しましょう）

単位：円

		実績	計画	計画	計画	計画	計画
		年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
入金	現金預金等期首残額㋐ （前期繰越金⑥）						
出金	施設・機械等の投資㋑						
入金	借入金の借入㋒						
出金	農業経営費支出（③ー②）㋓ （減価償却費除く）						
出金	家計費（所得税等含）㋔						
出金	借入金返済（元本のみ）㋕						
売上金が入るまでの現金・預金の残高※ ④＝㋐ー㋑＋㋒ー㋓ー㋔ー㋕							
入金	農業収入計① ㋖						
入金	農外収入 ㋗						
農家の収入計 ⑤＝㋖＋㋗							
現金預金等期末残額 ⑥＝④＋⑤ （次期繰越額）							

※④がプラスの場合は余裕あり。マイナスの場合は現金・預金不足が心配されます。月次など詳細な資金繰りを検討しましょう。

※行の追加、数式、単位の変更は各自で入力してください

9. 所有資産負債の整理　　（調査日　　年　月　日）

科目	区分（名称等）	金額（円）
現金		
	小計	
預金		
	小計	
車両		
	小計	
機械		
	小計	
施設		
	小計	
その他		
	小計	
資産計		

科目	区分（名称等）	金額（円）
借入金		
	小計	
未払費用		
	小計	
その他		
	小計	
負債計		